



亀山市男女共同参画情報誌 2018

ケロロ

意識を変える カエル



意識を変える→
カエル→カエルの歌声ケロロを
情報誌の名前にしました。

編集 アクティブ亀山

男女共同参画をもっと身近に感じてもらうために始まった三重県内男女共同参画連携映画祭へ亀山市が参画して今年は10年目になります。それを記念して節目の年に相応しい特別企画を準備しました。情報誌では亀山市の男女共同参画に関して市長インタビュー（第3面記載）を実施し、また映画祭では宮沢りえ主演の感動の大作を上映いたします。アクティブ亀山はこの情報誌（以前は活動報告誌）の編集を担当して今年で5年目になります。皆様の温かいご支援をいただきながら男女がともに住みやすく自己実現できる社会を目指して少しでもお役にたてるよう努力してまいります。 アクティブ亀山代表 佐野孝子

三重県内男女共同参画 連携映画祭 映画「湯を沸かすほどの熱い愛」



©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」
製作委員会

◎場 所：亀山市文化会館大ホール

◎開催日：6月17日（日）

◎開 場：12時30分 ◎開 演：13時15分

※入場無料 ※整理券必要（5月15日から希望者に配布）

※整理券配布場所（関支所 文化共生グループ・亀山市文化会館など）

※無料託児あり（要予約）

映画終了後アフタートークあり（参加者には花をプレゼント）

あらすじ

銭湯を経営するある平凡な家族がいた。一浩（父）がふらっと旅に出たから銭湯は休んでいた。双葉（母）は明るい性格と強さで、パートをしながら安澄（娘）と生計を立てていた。ある日、双葉はパート先で倒れ、余命宣告を伝えられる。双葉はその日から「必ず実行すること」を決め、着実に行動に移していく。それは、放浪の旅に出た一浩を呼び戻し銭湯の営業を再び始めることだった。そして、優しすぎる性格の安澄を何とか自立させるために、ある人に引き合わせるというものだった。双葉の実行により、家族内の内緒事は解消され、彼らは意見をぶつけながらも、それが絆を深くしていった。

アフタートークへのお誘い

昨年の「ペコロスの母に会いに行く」のアフタートークでは30人以上のご参加を得て、感動の声や認知症の家族を看ての切実な話、今後の社会全体を危惧したご意見などを聞かせていただきました。今年も映画鑑賞直後の新鮮な感動を皆で語り合しましょう。



日本女性会議 2018 in 金沢

開催日 10月12日(金)～14日(日)

アクティブ亀山 いきいき講座

アクティブ亀山は、市民活動応援制度を利用して各地区のコミュニティセンターで出前講座を開催しています。男女共同参画社会の実現には、何歳になっても元気でいきいき、意欲を持って暮らすことが大切だと思います。そのために、工夫を重ねながら、食育・音育・体のストレッチ・滑舌など皆さんに参加して自ら楽しんでいただく「参加型講座」を準備しています。

昨年度は2カ所で開催しました。わが地区でも開催したいと思われる方はぜひご連絡ください。



クイズに挑戦

- ① 発酵食品はどれ？
トマトケチャップ・納豆・味噌・チーズ・佃煮
- ② 漢字パーツ足し算
月+木+月=□、豆+曲=□
- ③ □に入る数字はなに？
□寒+□温=7、□苦+□苦=□

早口言葉に挑戦

- ・赤巻紙・青巻紙・黄巻紙
- ・この竹垣に竹立て掛けたのは竹立て掛けたかったから

① ちまこ ② ちまこ ③ ちまこ ④ ちまこ ⑤ ちまこ ⑥ ちまこ ⑦ ちまこ ⑧ ちまこ ⑨ ちまこ ⑩ ちまこ

第13回ヒューマンフェスタ in 亀山



毎年多くの人権団体が集まって開催されるヒューマンフェスタにおいて、今期アクティブ亀山は「2025年問題」を取り上げました。2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、介護・看護を必要とする人たちがぐんと増えることが予想されます。それに伴い介護離職者も増えることが危惧されています。それを防ぐためにどうしたらよいか、今から真剣に社会全体で考えていかなくてはならない問題です。

2025年問題への理解を促すために、模造紙に問題点を大きく図式化して表示し、理解しやすくしました。アンケートもその図を見ながら答えていただく形式のものにし、多くの参加者の方から勉強になったとの言葉をいただきました。



亀山市人権施策基本方針 基本理念

「みがこう、人権感覚 広げよう、人権の視点めざそう、一人ひとりの人権が尊重されるまち」

第14回ヒューマンフェスタ開催予定
平成30年12月8日(土)

市長インタビュー

実施日：平成30年1月25日（木）

アクティブ亀山が、当誌の編集担当5周年になるのを記念して、男女共同参画について市長インタビューを実施しました。



質問1:男女共同参画に関する※202030という目標に対して、今までの亀山の取り組みの成果と今後の対策をお聞かせください。

市長：亀山としては「各種審議会における女性の登用率」の目標値を40%に設定して、女性の政策、方針決定の場への参画促進に取り組みました。H20年度には24.3%であったのですが、**H29年度には37.3%**を達成しました。これは県内市町の中でもトップクラスです。

質問2:一般行政職員における女性管理職の割合はいかがですか？

市長：一般行政職員では、**H29年度12.7%**で、県内では平均値ですが、こちらはもう少し時間がかりそうです。

質問3:男女共同参画に関してどのような市にしたいと考えておられますか？

市長：中長期の目標として、「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま」というフレーズを掲げています。社会全体で**英知や力がうまくまとまっていく仕組みを考えたい**と思っています。

質問4:ご家庭において男女共同参画の視点から何かをなされたり、配慮しておられることはありますか？

市長：家事の分担は妻に負担がかかっていると思いますが、私もごみ捨てや風呂の掃除、アイロンかけは手伝っています。**精神的には、妻がボランティアや趣味を楽しむことを尊重しています。**

質問5:アクティブ亀山に期待されることはありますか？

市長：一般市民の目線に近いところからの情報発信は大切であり、アクティブ亀山の活動には感謝しています。これからも他組織と緩い結びつきを持って、意見交換などをしていってください。アクティブ亀山の**さらなるご活躍を期待**しています。

編集後記

雪が降り開催が危ぶまれるほどの天候ではありましたが、とても和やかな1時間のインタビューとなりました。市長の亀山市にける思いをうかがえるとともに、家庭での温かい側面も見せていただきました。この経験を今後のアクティブ亀山の活動に生かしていきたいと思っています。



※202030とは



平成15年に、国の男女共同参画推進本部が設定した「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度となるよう期待する」という政府目標のことを言います。



アクティブ亀山の2017年（平成29年）度の活動報告

毎月、亀山市の男女共同参画担当部署との定例会議を実施しています。

平成29年5月16日

亀山市男女共同参画情報誌 2017 編集発行



1月～4月まで月2回の編集会議をもち、5月16日付けの広報とともに各戸に配布しました。



6月18日

三重県内男女共同参画連携映画祭 2017 運営

「ペコロスの母に会いに行く」



認知症の母親と介護する息子の苦闘しながらも温かい交流の姿に、観衆は大いに泣き、大いに笑いました。アフタートークには34人の方が出席され、多くの方から感動したという感想をいただきました。

いきいき講座開催

自主活動として「いきいき講座」を2カ所で開催

5月25日 野村地区コミュニティ 37名参加

サザエさんの歌を歌いながら頭と体の体操を行う講座が好評でした。

1月19日 井田川南地区コミュニティ 20名参加

大正琴の伴奏にあわせて大きな声で唄を歌って楽しく過ごしていただくことができました。

11月27日

加藤大智氏と女性の社会進出について交流会

海外と日本の企業における女性の社会進出の背景と現状について学び、亀山市の地域性と女性の地位について、率直な意見交流をしました。



加藤大智氏
BNI名古屋北リージョンディレクター・コンサルタント
名古屋青年会議所ネットモラル確立委員会在籍

12月9日

ヒューマンフェスタ in 亀山に参加

新鮮な若い感覚で訴えかける中・高校生の作文には、心打つものがありました。また、自閉症の息子と父親とのライブは、温かい二人の思いが流れていてさわやかな思いで聴かせていただきました。

平成30年1月25日

市長インタビュー

外では雪が舞う中、念願であった櫻井市長との面談を行いました。アクティブ亀山の活動にご理解をいただいていることが感じられ、有意義なインタビューとなりました。

平成29年5月14日～平成30年3月4日

かめやま文化年応援団として活動

主な参加行事

- ・ 亀山トリエンナーレ2017
- ・ 亀山芸術祭

受付業務などで他団体の方とも交流でき、視野を広げる有意義な機会でした。

アクティブ亀山は「市民活動応援制度」の登録団体です

男女共同参画啓発講座・・・食育講座・音育講座・ストレッチ・脳トレ・その他

女性相談

夫・恋人からの暴力、夫婦間の問題など一人で悩まず、お電話ください。

日時 平日 8時30分～17時15分
(土日祝休み)

場所 総合保健福祉センター（あいあい）
2階 子ども支援グループ

電話 0595-83-2425



■ 男女共同参画に関する情報、問合せ ■

亀山市生活文化部
文化スポーツ課文化共生グループ
電話0595-96-1223
FAX 0595-96-2414
E-mail bunkakyosei@city.kameyama.mie.jp

アクティブ亀山への参加申し込み・お問い合わせ
代表 佐野孝子 TEL: 0595-85-1883